



# 北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/ナシオビル ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第3184回例会・2018年1月24日

本日のプログラム

会員卓話「職業奉仕とアメリカニズムの由来」

福地 博行 職業奉仕委員長

2017～2018年度国際ロータリーテーマ

『ロータリー:変化をもたらす』

R. I. 会長 イアン H.S. ライズリー

## 第3183回例会(1月17日)の記録

**司会** 岸本親睦活動委員長

**ロータリーソング** それでこそロータリー

**会長挨拶** 舟山会長

今日1月17日は阪神淡路大震災から23年目を迎えた時という事で、もう23年も経つのかなあと言うのが正直な気持ちであります。

前北海道副知事の荒川裕生さんが「住み続けられる町研究会」というのを去年の暮れに立ち上げました。それは何かというと、2015年に国連が、2030年迄に193全ての国連加盟国が持続可能な開発目標を作りましょう、という事で17の目標を作りました。その中の11番目に、住み続けられる町作りをというのがあって、北海道全体で議論をしようという動きが出ています。あと100年位したら日本の人口は半分位になるだろうという事で、そのまま行くと少なからずそれぞれの町が消滅するという中で、それぞれの町がどのようにしてこれから持続可能な社会を作っていくのか、そういう意味で北見市から移住コンシェルジュをお迎えして、今企画財政が北見市の将来に亘って考えて頂いている事を皆さんに聞いて頂けるという、非常に有り難い機会だと思っている所であります。



**幹事報告** 岡村幹事

1. ロータリー財団より、2016-2017年度の寄付につきまして表彰が来ております。歴史に1ページを刻もうキャンペーンの感謝状という事で、ポリオ+へ1,500ドル以上を寄付したクラブに贈られるという事で感謝状が届いておりますのでご報告申し上げます。
2. ロータリー囲碁同好会から、4月22日(日)に東京日本棋院会館におきまして大会を行います。ご興味のある方は私の方までご連絡を頂ければ登録をさせていただきます。
3. 例会終了後にIMの実行委員会の打合せを行います。



**ニコニコBOX**

金田会員～父の葬儀の際にはクラブの皆様大変お世話になりました。心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

## プログラム

ゲスト卓話「北見市の移住政策について(北見市地方創生総合戦略の推進)」

北見市企画財政部 次長 伊集院 健介 様  
移住コンシェルジュ(地域おこし協力隊員) 井尻 令子 様

**伊集院 健介 様**

進め方としまして、「地方消滅」とか「人口減少についての提言」があり、国では「地方創生」という形の政策が4年前から動いております。それに関連して「人口減少の対応」という所で市としてどう考えているのかといった所についてお話をさせていただきます。



地方創生という事で、「まち・ひと・しごと創生法」という法律が出来まして、全ての自治体に地方創生の総合戦略を作るという事で話しが進んでおまして、北見市では平成28年2月に地方創生総合戦略というのを取りまとめ致しました。全国的にもそうですが、北見市も人口減少の局面になっております。このまま行くと、2040年には89,630人というのが統計的なデータで予測した数字になります。我々の地方創生総合戦略では、2040年に97,000人というのを目標にしています。要素としては、子供の生まれる数を増やす、人の流出を減らす、外から中に入って来る人を増やす、といった所で人口が維持されるものですので、その辺りを総合的に進めるというのが地方創生総合戦略の中身となっております。北見市の出生率は1.36という事で国の平均より若干下回っています。この解決策としては、なんと言っても子育て支援といった所で、生み育てやすい環境を作っていくという事が大きな所だと思います。次に社会増減ですが、北見市は全体的に流出していく人の方が多くなっています。原因としては、基本的には就職と就学といった所をキーにして外に出て行く方が多くなっています。この解決策としては、特に雇用を増やしていかないと働く為に中央に出てしまうという事になりますので、経済を活性化させて雇用を増やすといった所がメインの対応になります。次に流入対策といった所で、移住に対する総合的な環境整備という事で、新たな働き方の提唱と移住との連動強化といった所を包括しながら交流人口を増やしていく事が基本になっています。具体的な施策として、移住の検討をされている方や希望者といった所に地域の情報を発信する、希望者に対してきめ細かな対応をする、こういった所が対応の柱になってまいります。

**井尻 令子 様**

私は普段から北見市はどういう所かという情報発信をしております。情報発信をする為には取材が必要なのですが、新聞で取り上げられるような大きな行事にも行きますが、もっと人にスポットを当てたような、生活感が出るような写真を撮り溜めてプロモーション活動をしております。東京の浅草で11月11日に北見市のプレゼンを30分する機会を与えられました。何処を選ぼうとその方の人生の選択の自由なのですが、一番悲しいのは mismatch です。自然が好きで北海道に来て頂くのは良いのですが、生活環境を知った上で住む所を決めて欲しいという話しをしたら、皆さん感心して下さいました。ですから、細かい情報発信が必要なんだなと思いました。しかし、私一人で情報発信するには限界があります。情報発信をする人数が多ければ多い程色々なニーズを捉えられると思うのです。そこでお願いですが、普段から北見市の良い所を語って欲しいと思います。もしある方が北海道を離れたとしても、北見の良い所を伝えてくれるような感じにして送り出してあげないとなりません。また、他の地域の情報を知る機会を持って情報共有をして頂きたいとも思います。インターネット等を使って、実情をリサーチして行くのが幸せの道だと思うからです。



**【次回1月31日】** 新入会員卓話 「郵便局のあなたの知らない世界」

日本郵便(株)北見郵便局 局長 福田 和博 会員

**編集後記** 私は、このまま北見に住めたらいいなあ…と思っています。

(S.M)

2017～2018年度 北見R.C.活動方針

楽しく学び、楽しく実践しよう

**クラブ奉仕とはとは**

ロータリーの第1奉仕部門です。クラブを円滑に機能させる為に、例会に出席する事、親睦に加わる事、プログラムに参加する事、委員になる事、理事を務める事、会費を払う事、IM、地区協議会、地区大会等に出席する事です。